

磨き作業の哲学的思考



塗膜研磨の 科学的 アプローチ

金子幸嗣 著

磨き作業とは
傷の置き換えの
連続である

磨きの本質が分かれば
作業がキレイで速くなる

過去3回にわたる連載に
「メンテナンス編」を追加

 PROTO RIOS

※表紙は編集中のイメージです。実際とは異なる場合がございます。

磨き作業の哲学的思考

塗膜研磨の科学的 アプローチ

金子幸嗣 著

B5判/約180ページ/フルカラー
定価5,940円 (税込・送料無料)

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。

 PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL : 06-6227-5661 FAX : 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>

新刊

2022年

9月下旬

発売

磨きに悩む
技術者必見の書

磨きの本質が分かれば

キレイで
速くなる



ポイント解説
動画を

ちょっとだけ
お見せします!



PART1 研磨した塗面のツヤを測色する

- 研磨後の測色について
- 1 ツヤが測色できたと考えるための判断基準/ツヤやボケを感じる時/研磨処理の本質に起因するもの/研磨工程に起因するもの/仕上げ方法の違いに起因するもの
 - 2 研磨作業と観察
それぞれの個所と視認結果について
 - 3 測色値の正しさを判断する基準
 - 4 各研磨工程と仕上げ工程における測色と光沢の測定
- 色差について
- 5 ツヤが色として測色できる証明/測色結果に基づいて、2カ所の色ツヤを比較する/色差結果と感覚との相関性/光沢度(鏡面光沢度)について/色ツヤの測色と数値化する実益

PART2 塗膜研磨の体系的考察

- きれいについて
- 1 きれいの限界/自動車塗膜研磨作業の意味と方法/きれいの定義と条件/実際の作業においてどこが悪いのかを判断する/実験の注意点/実験する/きれいに研磨処理するためのパフ、コンパウンド、ポリッシャー選択の指針
- 太陽光で浮き立つ模様謎
- 2 オーロラマーク(ホログラム模様)の発生原因と消し方/オーロラマークが発生する要因/光の条件/傷の条件と模様の考察/オーロラマークの正体と光の関係/オーロラマークの消し方のアプローチ/ポリッシャーの運動方法と塗膜面に残る模様/きれいでオーロラマークの発生しない研磨作業の構造
- きれいさの評価基準
- 3 実体的きれいさと形式的きれいさの意味と関係/きれいさの評価方法/形式的きれいさの判断方法(手順1)/実体的きれいさを評価する前に考えておくこと/形式的きれいさをクリアした上で実体的きれいさを判断する方法(手順2)/超微粒子コンパウンドのツヤ出し剤としての性能について
 - 4 塗膜研磨の体系的考察の必要性

PART3 塗膜研磨の実践に関する考察

- 1 実践に関する考察の指針と対象
考察の対象
- 実践方法の正しさの検証方法
- 2 「きれいになる」こと/「速い」こと/研磨力の幅の大きさと速さの推定/パフ研磨における「研磨力の幅」の意味と特徴/正しさを検証するその他の要請
- 研磨作業の実践 ポリッシャー編
- 3 回転ポリッシャーの使いこなし/リアルタイムで感じる感覚的判断とは/回転ポリッシャーの回転数について/回転ポリッシャーの回転数が問題になる理由/回転ポリッシャーの回転数を決定する条件の分類/パフの当て方と運び方の考察/パフの当て方について/パフと塗面との接触角度/回転ポリッシャーの移動方向/回転ポリッシャーの塗膜面上の移動スピード/ダブルアクション(ランダムアクション)ポリッシャーの例外/正しい当て方と移動方法へのアプローチ/ダブルアクションポリッシャーの当て方・移動方法と研磨力の関係/回転ポリッシャーの負荷による研磨時の塗膜面の温度と研磨力・色ツヤについて/回転ポリッシャーの平面以外の当て方と移動方法/ダウンカットが回転ポリッシャーの使いこなしで問題となる場面/ペーパーによるブツ取りから仕上げ研磨までの工程の見直し
- 研磨作業の実践 パフ、コンパウンド編
- 4 パフ、コンパウンド研磨/パフ、コンパウンド研磨の荒業/粉砕型(式)コンパウンドについて/雨染みやコインなどで引かれた傷を消す/パフ、コンパウンド研磨の本質
- New 研磨作業の実践 メンテナンス編
- 5 修理の多い故障症状とそうならないための方策、メンテナンスの心得など/パフの清掃と交換のタイミング/パフを洗う/パフの洗いや

索引

※掲載内容は編集集中のものであり、実際とは異なる場合がございます。

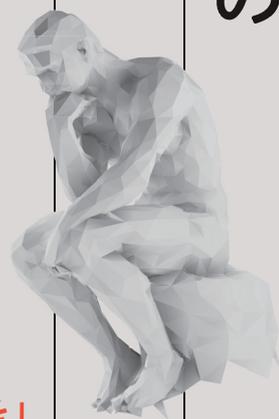


ア
プ
ロ
ー
チ

科
学
的

「
塗
膜
研
磨
の

磨
き
作
業
の
哲
学
的
思
考



購
入
者
限
定

本文中のQRコードを
読み取ると
解説動画が視聴できます!!



著者プロフィール

ケキテック株式会社
代表取締役

金子 幸嗣

(かねこ こうじ)

1986年(昭和61年)、名城大学大学院修士課程、刑事法専攻を修了。その間に法哲学の受講・研究、他大学で哲学と心理学の聴講を経て、同大研究生となる。

在学中よりディテールリングと飯金塗装後の磨きを経験し、1988年(昭和63年)にケキテックを設立。パフ、コンパウンド、ポリッシャーなどを製造、販売しながら、全国各地で磨き作業の講習を行う。また、同社においてパフ、コンパウンド、ポリッシャーの構造及び磨き方における特許を取得している。

「月刊ボデーショップレポート」2017年6月号～12月号に「塗膜研磨の科学的アプローチ」、2018年4月号～20年2月号(隔月)に「塗膜研磨の体系的考察」、2020年4月号～22年3月号(隔月)に「塗膜研磨の実践に関する考察」を連載。